

地域社会との緊密な連携を築く

地域との連携を図ったPTA活動

日進市立日進東中学校PTA

1 はじめに

(1) 本校の概要

本校は、日進市の東部に位置し、日進市の約半分が校区となっており、日進市内で唯一自転車通学が認められているなど、広範囲の校区を有している。

昭和56年（1971年）に日進市3番目の中学校として開校し、昨年度40周年を迎えた。田園地帯が広がる一方、近年、南部の宅地開発が進み、生徒数は微増傾向にあり、生徒数632名、学級数は21学級（通常学級18、特別支援学級3）の学校である。



【運動場から見た日進東中学校の校舎】

(2) 本校のPTAの概要

本校は、「志学 敬愛信 剛健」の教育目標のもと、教育活動を行っている。PTAは、3役をはじめ、研修委員会、安全委員会、厚生委員会、広報委員会の総勢36名の幹事の方を中心に活動を行っている。また、地域とも連携し、さまざまな活動を実施している。

年間の主な事業計画は以下の通りである。

月	事業内容	月	事業内容
4	新旧合同幹事会・引継ぎ会 総会（書面表決）	10	教育講演会
5	第1回役員会・幹事会 通学路安全点検アンケート 緊急情報活用訓練	11	第3回役員会
6	日進東中学校区小中生徒指 導・いじめ防止対策推進連絡 協議会 校区巡視・通学路点検	12	「PTAだより」発行 次年度幹事選出会
7	「PTAだより」発行	1	第4回役員会 第3回幹事会
8		2	校外巡視・通学路点検 第5回役員会 日進東中学校区小中生徒指 導・いじめ防止対策推進連絡 協議会
9	第2回役員会・幹事会 校外巡視・通学路点検	3	「PTAだより」発行 会計監査

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校は、今年度より、日進市から「地域学校協働活動」の業務委託を受け、実施している。この事業の目的は、地域全体で学校教育活動を支援する体制を整備し、学校教育の充実・多様化と地域の教育力向上を図ることにある。元来、心身ともに健やかな生徒を育成するためには、学校だけではなく家庭・地域・学校が互いに協働し、教育活動を進めていくことが必要である。今までも、学校行事等で保護者や地域の方に協力をしていただいていた。さらに、この体制をより整備し、日進市の事業とも連動させて、地域との協働活動を図ったPTA活動を実践していきたい。

(2) 本校PTA活動の組織と地域学校協働活動の概要

本校PTA活動の委員会別活動とボランティア活動内容は以下の通りである。

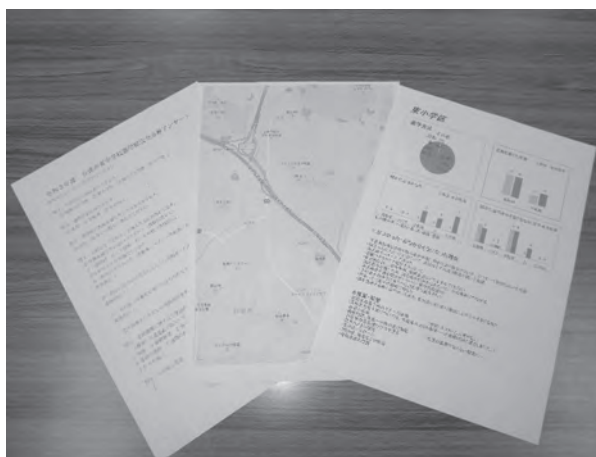
- 研修委員会・・・教育講演会、社会見学の企画運営等
- 安全委員会・・・通学路安全点検アンケート実施、校区巡視等
- 厚生委員会・・・リサイクル品回収活動、制服等リサイクル活動等
- 広報委員会・・・各学期1回発行の「PTAだより」作成等
- * 図書館ボランティア・・・月1回程度の図書室にある書籍の整備等

「地域学校協働活動」には各中学校に1名、「地域学校協働活動推進員」が配置され、地域人材の発掘や調整や事務的な業務など、地域学校協働活動に関わる運営に携わる。月1日程度の配置時間となる。地域学校協働活動の主な内容として、「学習活動の支援」「環境整備」「登下校安全指導の支援」などがある。

3 実践活動の概要

(1) 通学路安全点検アンケート・校区巡視

安全委員会主催で、1学期の始めに、「通学路安全点検アンケート」を実施している。各小学校区に分かれた地図に①危険箇所を書いたり、②登下校状況について意見を書いたり、③道路整備等の要望などを書いたりするアンケートである。集計結果は、後日全家庭に配付する。通学路の道路に関する要望等は、



【通学路アンケート】

日進市に要望書を提出することとなっている。本校は、全校生徒の3分の1弱の生徒が自転車通学である。通学路には坂道も多く、今までも登

下校中の事故が起こっている。昨今、全国的に、通学路の事故が問題になっている。今後も、安全対策のためにも継続してきたい活動である。

校区巡視については、同じく安全委員会の方々を中心に、定期テスト初日に（年4回）各通学路のポイントに分かれて実施している。実施後「校外巡視報告書」を学校へ



【校区巡視】

提出し、今後の登下校の在り方に生かすようにしている。報告書には、挨拶がしっかりできている内容が書かれており、挨拶運動の一環ともなっている。

(2) 図書館ボランティア

本校では、平成13年から、21年間にわたって、図書館の整備や蔵書点検、お勧めの本の紹介などのボランティア活動を行っている。今年度も、19名の希望者があり、月1回程度、1回2時間程度の活動を行っている。右の写真は、新書のカバー貼りを行っている様子である。ボランティア



【図書館ボランティアの活動】

アの中には、卒業生の保護者の方もいて、地域の人材として活動している。また週4日、市の職員として、学校図書館運営補助員が4時間程度勤務しており、図書館ボランティアの運営の中心として活躍している。おかげで、生徒の本に対する意欲が増し、昼の休み時間には多くの生徒が来室し、貸し出し冊数も増加している。

(3) 地域学校協働活動としての環境整備

本校では、図書館ボランティアと同様、花ボランティアとして20年以上活動してきた。ただ、ここ数年、活動人数が減少し、中心となって活動していただいている方が永年活動しているということもあり、活動停止の申し出があった。そのため、花ボランティアとしての活動は昨年度末で停止とした。そんな中、今年度より、市の委託事業として「地域学校協働活動」が始まり、地域の人材を活用した教育活動が行われるようになった。さらに、各中学校区に、「地域学校協働活動推進員」配置され、活動をサポートする体制となった。

本校では、地域学校協働活動として、活動停止となった花ボランティアを地域の方を募って行うこととした。校区内の町内会に、花ボランティアの案内を回覧板で知らせ募集した。案内については、地域学校協働活動推進員に作成してもらい、回覧板で周知する手続きも行ってもらった。結果、8名のボランティアが集まった。



【地域学校協働活動による環境整備】

6月下旬に本校にて、花ボランティアの打合せを行った。8名のうち、1名が本校PTAの方であったが、それ以外は地域の方であった。中には、地域で園芸事業を行っている方もみえた。7月上旬より、毎週火曜日、午前9時からの約1時間の活動を始めた。本校の敷地は、丘の上にあり、元々草木が多く、校務主任だけでは到底管理しきれない状況にあった。そこに、ボランティアの方々が作業をしていただいたことで、業務軽減につながった。上の写真は、校門前の緑化整備の様子である。雑草については、管理に苦労していたが、ボランティアの方より、「草を刈った後に、地面にぬらした段ボールを敷いて、土をかぶせると草は生えてこない。段ボールは土に分解されるので、環境にもよい。」ということを教わった。その他、暑さに強く管理しやすい植物や、植樹の際に気をつけることなど、さまざまなアドバイスを聞くことができた。現在、敷地内の花壇にはすべて草花を植樹することができたので、今後は、庭園などの雑草管理のために、防草シートを敷いたり、砂利を敷いたりする予定である。

4 おわりに

コロナ禍のPTA活動も2年目を迎えた。昨年度の活動はことごとく中止となってしまったが、今年度は通常とはいえないものの、できる範囲で活動を行っている。地域社会との連携に関するPTA活動の取組を報告したが、このような状況の中、地域の方々は学校に協力を惜しまず、PTA活動を始め、学校教育支援に協力していただいている。

今年度より始まった「地域学校協働活動」が契機となり、より地域の人材の方に協力していただく活動ができるようになった。ただ、まだ始まったばかりで、地域人材の活用も限定的である。部活動指導やキャリア教育など、地域の方々との連携は今後も検討が必要である。学校運営協議会（コミュニティスクール）の取組が叫ばれる中、地域の方との連携は必須である。PTA活動の負担軽減や教職員の働き方改革とも関連して、今後も地域との連携を図ったPTA活動の在り方を考え、改革を進めていきたい。